

避難小屋の適正利用にご協力ください！



- 東京都が管理している6つの避難小屋※1は、荒天時、体調不良、その他緊急時に、登山者の安全を確保することを目的に設置された施設です。自然公園施設としての定義も「宿舎のように利用者※2の宿泊を目的とするものではなく、山岳等において非常の際一時難を避ける目的で設けられる施設である」とされています。
- 緊急時にはいつでも利用できるほか、昼食や休憩といった一時利用も可能です。一方で、避難小屋は緊急時に必要な方が利用するための施設ですので、宿泊をあらかじめ想定した登山計画は組まないようお願いをしています。しかし最近では、一部の利用者が避難小屋で宴会をしたり、早い者勝ちと言わんばかりにスペースを必要以上に占有したりして、後から来た登山者が避難小屋に入れなかった、というご意見を頂くことがあります。避難小屋は宴会場ではありませんし、先着した一部の人が好き勝手に使って良いわけではありません。
- 必要な方が必要な時に利用できる施設であるために、皆さまのご協力をお願いいたします。

※1 東京都には、雲取山避難小屋、西谷山避難小屋、一杯水避難小屋、鷹ノ巣山避難小屋、御前山避難小屋、三頭山避難小屋の避難小屋があります。
 ※2 利用者とは、自然公園を利用する方のこといいます。

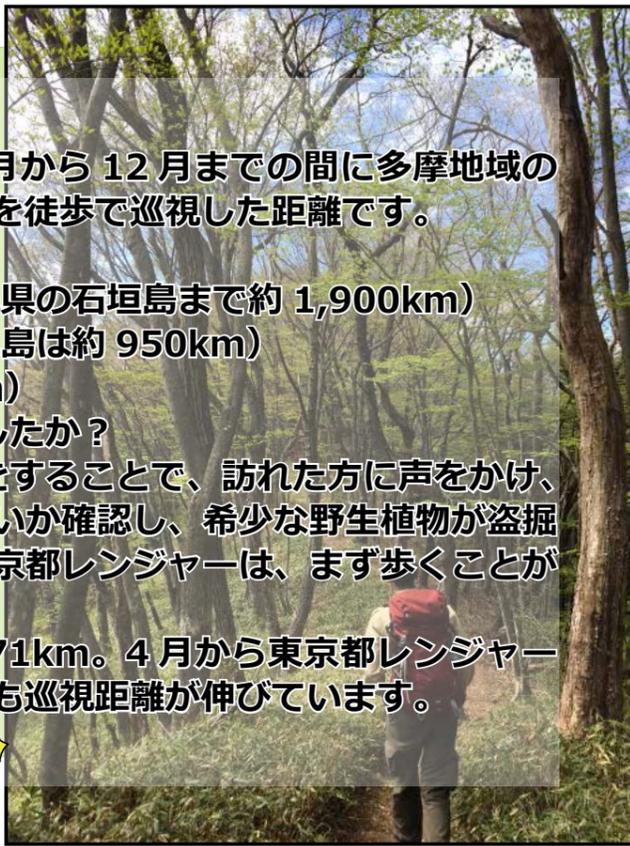
どこにいるでしょう？

誰もいない？いいえ、います。ここ——！！
 ぶれてます。東京都レンジャーのカメラになんかに容易に捉えられてなるものか！
 わたし、アメンボです！
 「飴」のようなにおいを出し、体が「棒」のようだからこの名が付いたそう。
 水面に獲物が落ちると素早く向かいます。
 水をはじく足先の毛を持つてるから水面に浮かびます。水たまりをスイスイ滑走！
 ぷっぷー、すごいだろー！！忍忍！



3,785

3,785km。これは昨年2016年1月から12月までの間に多摩地域の東京都レンジャーが都内の自然公園内を徒歩で巡視した距離です。
 3,785km というと…
 ・東京—石垣島の往復（東京から沖縄県の石垣島まで約1,900km）
 ・東京—鹿児島を2往復（東京と鹿児島は約950km）
 ・皇居を757周（皇居1周が約5km）
 どのくらいの距離だか想像がつかましたか？
 東京都レンジャーは日々歩いて巡視をすることで、訪れた方に声をかけ、登山道やトイレなどの施設に異常がないか確認し、希少な野生植物が盗掘されていないか監視をしています。東京都レンジャーは、まず歩くことが仕事なのです。
 今年、2017年は5月末現在で1,971km。4月から東京都レンジャーが増員になったこともあり、昨年よりも巡視距離が伸びています。
 今日もどこかで巡視をしています。💡



小笠原 新レンジャー紹介



市岡洋三（いちおか ようぞう）（小笠原地区母島）

平成29年4月から母島レンジャーとして赴任した市岡洋三です。羊年の三男なので洋三です。
 三月まで母島にある中学校で教員として、母島の子供たちと島のこと、自然のことといろいろなことを学んできました。これからは、レンジャーとして次世代のために、母島の自然を守り伝えていきたいと思えます。頑張って精進いたしますので今後ともよろしくお願ひします。現在写真の通りの巨躯ですが、今後の変化にご期待ください。

竹中泉（たけなか いずみ）（小笠原地区母島）

平成29年4月より東京都レンジャーとして小笠原に赴任した竹中です。父島島民歴5年目です。父島赴任早々5月より母島レンジャーに異動となりました。植生豊かな母島勤務で、たくさんの植物との出会いを今から楽しみにしています。皆さんも母島にお越しの際は、お気軽にお声がけよろしくお願ひします。



東京都レンジャーの業務

- ・観光客などへの利用マナーの普及・啓発
- ・希少な動植物の密猟や盗掘の監視
- ・利用者の安全確保のための登山道や案内板などの点検、応急補修
- ・動植物の生息、生育状況など自然環境の継続的観測および監視
- ・自然公園を訪れる皆様への自然解説、登山ルートや施設の案内

自然情報などの問い合わせ

高尾ビジターセンター	042-664-7872
奥多摩ビジターセンター	0428-83-2037
御岳ビジターセンター	0428-78-9363
小峰ビジターセンター	042-595-0400
山のふるさと村ビジターセンター	0428-86-2551

東京都レンジャーは次の企業にご協力いただいています。 丸紅フットウェア